

# 札幌市地域公共交通確保維持改善協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 概要

札幌市においては、公共交通を軸とした交通体系の実現を計画理念とする総合交通計画を策定し、バス路線の維持や公共交通利用促進のための取り組み等を行っている。

その中で、高齢者や障がい者といった移動制約者の移動の利便性を向上させるためノンステップバスの導入を支援しており、平成25年3月31日現在のノンステップバスの導入率は19.61%となっている。(※1)

(※1)各バス事業者の総バス台数中に適合除外車両数が含まれており、精査したところ、平成24年度末の導入率が急伸することとなったもの。

## 札幌市生活交通ネットワーク計画の目標

札幌市では、平成10年度から、高齢者や身体障がい者などの移動制約者に対し利便性の向上を図るため、導入補助金制度を設けて、バス事業者に対してノンステップバスの導入を促しており、今後も継続的にノンステップバスの導入を促すことにより、札幌市内を運行する乗合バス車両に占めるノンステップバスの比率を、平成28年度末までに12%以上とする。

## 平成24年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

- 平成10年度に札幌市において初めてノンステップバスが導入された。(市交通局1台、中央バス2台)
- 札幌市の補助のもと、毎年約6台程度のノンステップバスを導入している。

## 地域公共交通の現況

- 北海道中央バス(株)(市内 335系統)
- ジェイ・アール北海道バス(株)(177系統)
- (株)じょうてつ(63系統)
- 札幌ばんけい(株)(3系統)

## 札幌市地域公共交通確保維持改善協議会開催状況

- 平成24年6月11日～13日  
持ち回り協議にて、協議会設立及び改善計画について全ての構成員から合意を得られた。
- 平成24年11月9日～13日  
持ち回り協議にて、改善計画の変更について全ての構成員から合意を得られた。

## 平成24年度事業概要

ノンステップバス導入(13台)

## 2) 導入車両



## 3) 導入実績

### ノンステップバス導入台数の推移

年度末	20	21	22	23	24
導入台数	11	16	8	8	12
年度末累計	80	95	101	109	121
導入率	5.81	7.06	8.75	9.44	19.61

※これまでの導入率算出の基礎となっていた総バス台数に相当数の適合除外車両が含まれていることが判明し、各バス事業者が改めて精査したところ、適合総バス台数が減り、導入率が急伸したもの。

※廃車等の減少分があるため、前年度末累計に当年度導入台数を加えたものは当年度末累計とは必ずしも一致しない。

※導入台数には中古購入分も加えているため、単年度の導入台数は、補助対象台数と一致しない。

## 4) 事業実施の適切性

一部の事業者において、事業を一部縮小したが、概ね計画通り実施された。

## 5) 目標・効果達成状況

平成24年度は、北海道中央バスで該当車両を13台購入（うち補助対象6台）し、高齢者・障害者等、移動に制約のある人にとっての利便性向上につながっている。（廃車が1台あったため、増加台数は12台）

なお、平成24年度当初は、札幌市内を運行する系統の車両のノンステップバス比率を平成28年度末までに12%以上にすることを目標に設定していたが、各バス事業者の総バス台数中に適合除外車両数が含まれていることが判明し、改めて精査したところ、平成24年度末の導入率が19.61%に伸び、結果として平成28年度末までの導入率目標12%を上回った。

## 6) 事業の今後の改善点

冬期間の降雪量が多く、道路環境が悪い状態が続き、ノンステップバスでの運行に支障をきたすこともあったため、運行道路及びバス停留所付近の除雪体制等について、今後も道路管理者との密接な調整を図り対処することが必要。

## 7) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・ノンステップバスの導入は、計画に従い着実に導入しており評価できる。
- ・今後は導入促進に向け更に高い目標を設定し取り組むことを期待する。